

2024年の寒露は10月8日です。

寒露とは、草花に降りる冷たい露のことで、この時期、山野では紅葉が始まり、秋の草花も見頃となり、朝晩は冷えてくるので、ようやく夏の疲れが取れて体力も回復する時期でもあります。

この時期の行事に熊本県の六殿神社の「流鏝馬神事」があります。

六殿神社は、熊本県で初の重要文化財となった朱塗りの楼門を有し、

流鏝馬は、秋の例大祭の奉納神事として10月9日に行われ、馬追いなども行います。



他に、「日本三大くんち」と呼ばれる行事があります。

「くんち」という言葉は聞き慣れませんが、旧暦9月9日を重陽（ちょうよう。陽の数字のうち最も大きい9が2つ重なるめでたい日）として祝う中国の風習がルーツとされ、「博多おくんち（福岡県）」、「長崎くんち」、「唐津くんち（佐賀県）」をあわせて「日本三大くんち」と呼びます。

昔、太夫（たゆう）町の遊女が長崎の氏神である諏訪神社神前に、謡曲「小舞（こまい）」を奉納したことが長崎くんちの始まりといわれ、3日にわたる祭りは、10月7日の諏訪神社境内での奉納踊りで幕を開けます。

この奉納踊りは、中国だけでなくオランダやポルトガルなど外国からの影響が色濃い長崎らしく、異国情緒溢れる踊りです。

よく知られているのが「龍踊り」で、「鯨の潮吹き」「太鼓山（コッコデシヨ）」などもあります。

その他、寒露の時期に行われる行事に神嘗祭（かんなめさい）があります。

伊勢の神宮で、例年10月15日～17日に開催されます。その年に収穫した新穀を天照大御神に捧げ、御恵みに感謝するお祭りです。

10月12日は芭蕉忌です。

「旅に病んで夢は枯野をかけ廻る」 松尾芭蕉

この句には「旅」・「病」・「夢」など読み手が共感しやすい言葉が並び、孤独を感じさせる「枯野」もあります。そして句の背景には近づく「死」があります。

「旅の途中で病床に臥していながら、夢の中ではなお枯野をかけめぐっている」